

4 伝統野菜・新顔野菜への取り組みについて

農業支援センターでは、JAさっぽろが栽培に取り組む「札幌黄」、「札幌大球」、「札幌大長なんばん」、「サッポロミドリ」、「札幌白牛蒡」などの伝統野菜や、直売向けの参考とする新顔野菜の展示栽培を行っています。

伝統野菜普及の一環で、11月29日には札幌大球応援隊が企画、コープさっぽろとオタフクソース（株）が共催した「札幌大球」の収穫体験と料理教室が開催されました。参加者の親子48名は、センター職員から札幌大球の由来などを聞き、収穫した後に札幌大球を使用したお好み焼きを作って試食するなど大いに盛り上がりました。

また、新顔野菜の展示では本州野菜であるショウガ（品種名：三州生^{さんしゅう}姜）のハウス栽培を試作し、5月末定植～10月中旬収穫で、一株当たり200g程度の収量となりました。また、カーボロネロ（黒キャベツ）、スイスチャード、エンダイブなどの欧米野菜は露地栽培が容易で、中でもカーボロネロは耐暑性・耐寒性にも優れ、直播でも70日程度で若葉からかき取り収穫ができます。味が濃く、スープに入れるととてもおいしくお薦めです。



▲札幌大球の収穫体験



▲カーボロネロ（非結球の黒キャベツ）

問い合わせ先

札幌市農政部農業支援センター

Tel.011-787-2220

安全・安心な農畜産物の生産に向けた取り組みへの支援

札幌市では、市内の生産者等が行う、安全・安心の向上や環境負荷の低減につながるような栽培に関する取り組みを支援し、地産地消を推進することを目的として、「札幌市地産地消推進事業補助金」の交付事業を実施しています。

1 補助対象者

- (1) 札幌市内の農業協同組合などの団体
 - (2) 札幌市内の農業振興地域で農業を営む生産者
- ※ 補助対象者のより詳細な要件については、お問い合わせください。

2 主な補助金交付事例

- (1) 農薬散布機器に装着するドリフト（漂流飛散）防止ノズルの導入
 - (2) 電動アシストロール式播種機（薬剤散布装置付き）の導入（右写真）
 - (3) 農薬散布機器の噴霧口に取り付ける静電ノズルの導入
 - (4) トラクターに取り付ける平うねマルチャーの導入
 - (5) JGAP指導員基礎研修・審査員養成講座の受講
- ※ 上記の事例以外にも、補助金の趣旨に合致する取り組みであれば交付対象とすることが可能です。詳細についてはお問い合わせください。



▲薬剤の同時施用で減農薬かつ省力

問い合わせ先

札幌市農政部農業支援センター

Tel.011-787-2220